

令和6年度 第35期小田原市図書館協議会第6回協議会 書面会議結果報告兼議事録

1 書面会議の開催方法及び期間

令和6年9月5日（木）	【事務局→委員】書面会議の依頼・書類の発送
令和6年9月5日（木） ～9月13日（金）	【委員→事務局】回答様式の提出

2 書面会議書提出委員

7名

3 案 件

報告事項

- （1）利用者からの意見・要望について（資料1、2）
- （2）令和5年度 小田原駅東口図書館事業報告概要及び評価について（資料3）
- （3）令和5年度 中央図書館事業報告概要及び評価について（資料4）
- （4）令和5年度末の蔵書資料数等について（資料5）
- （5）小田原駅東口図書館及びおだびよ子育て支援センター指定候補者選定委員会について（資料7）
- （6）その他

協議事項

- （1）図書館を使った調べる学習コンクール審査員の選出について（資料6）

4 協議結果、提出意見と回答

報告事項	
（1）利用者からの意見・要望について	2ページのとおり
（2）令和5年度 小田原駅東口図書館事業報告概要及び評価について	2ページのとおり
（3）令和5年度 中央図書館事業報告概要及び評価について	2ページのとおり
（4）令和5年度末の蔵書資料数等について	3ページのとおり
（5）小田原駅東口図書館及びおだびよ子育て支援センター指定候補者選定委員会について（資料7）	意見なし
（6）その他	3ページのとおり
協議事項	
（1）図書館を使った調べる学習コンクール審査員の選出について	3ページのとおり

※提出された書面会議書のうち、意見があったものを掲載。

報告事項

(1) 利用者からの意見・要望について（中央図書館）

委員名	意 見	回 答
北河委員	3.利用者のガムの件について、ガムを噛むことを注意するのは非常に難しい。許容範囲ではないか。	咀嚼音が持続するガムの喫食については、周囲への影響にかんがみ御遠慮願いたいと考えております。

(2) 令和5年度 小田原駅東口図書館事業報告概要及び評価について

委員名	意 見	回 答
北河委員	6.利用統計においてレファレンス数令和4年1,167件から令和5年664件と激減の要因をどう分析しているのか。	図書館の利用に慣れた方が多くなったことによる軽微な質問の減少が一番の要因だと考えられます。
勝川委員	利用者アンケートを見ると、個人の進路や学習として使用したい10～20代と、カフェ的な憩いの場を求める40代以上の図書館に求めるものの違いを感じた。どちらも1つの使い方だと思うし、特に駅前の図書館に求められる多様な使い道なのかもしれないが、図書館本来の在り方を考えると利用者側にも少し考えを改めてもらいたい気持ちになる。	モニタリング協議会の際、有識者の先生からも同様のご意見をいただき、図書館の考え、方針を利用者に理解してもらう必要がある、とのアドバイスをいただきました。今後は、市としての考えも含め、東口図書館の在り方を利用者にご理解いただくための方策を検討し、周知に努めてまいります。
長谷川委員	利用者アンケート以外に他者からの評価を測定する仕組みはあるのでしょうか。 それぞれの評価結果を今後の図書館運営に役立ててください。	すべてのイベントではありませんが、イベントの際アンケートを行っており、利用者アンケートと同様に運営の参考にしております。

(3) 令和5年度 中央図書館事業報告概要及び評価について

委員名	意 見	回 答
勝川委員	自己評価表の評価点に「5」が1つもないのが気になった。(東口図書館は逆に4・5だけで3以下が1つもない)謙虚な姿勢からの評価なのか。中央図書館として担う役割の重さを加味してなのか、少し気になった。	各項目において、現状を更に向上させる余地があることなどを思慮し評価したものです。
藤本委員	東口図書館では、AED訓練が入っていますが、中央図書館では記載がありませんでした。記載はないが行っているということでしょうか。	令和5年度は実施していません。
長谷川委員	東口図書館の資料には利用者アンケート結果が添付されていますが、中央図書館は実施しているのでしょうか。	中央図書館で開催するイベントでは、開催時に満足度や開催イベントに関するアンケートを実施していますが、その他、中央図書館に関する総合的なアンケートは実施していません。

(4) 令和5年度末の蔵書資料数等について

委員名	意 見	回 答
北河委員	(1)資料総数について、マロニエ・いずみ・こゆるぎに購入”0”なのはなぜか。	地域センターの図書室・図書コーナーを所管する地域政策課の図書購入予算がないためです。

(6) その他

委員名	意 見	回 答
藤本委員	利用者の声を真摯に受け止め、対応されていることがよく分かりました。学校内で職員が話していたことをお伝えします。以前、学校職員であることを伝えた上で貸し出しについて伺ったところ、「同じような本ばかり借りられるのは困る」というような内容を言われたとのことでした。団体貸し出しに関する要綱について変更はあったのでしょうか？	同一分野による貸出冊数制限は、小説を除き、20冊以内としております。また、大活字本は20冊以内、大型絵本は10冊以内、紙芝居は6点以内としております。 上記は、「小田原市立図書館における団体貸出に関する取扱要領」で定めておりますが、貸出冊数制限については、近年改正しておりません。
長谷川委員	資料2・3の関連になるかもしれませんが、電子図書館の評価やアンケートなど実施しているのでしょうか。	実施していません。

協議結果 (1) 図書館を使った調べる学習コンクール審査員の選出について ※書面表決
事務局案に賛成6名・反対1名
過半数の賛成をもって、藤本委員を選出とします。

委員名	意 見	回 答
勝川委員	藤本委員であることに反対ではないが、第36期の新しい委員の方に経験していただいてはどうでしょうか。私も委員になった最初の会議で指名され、驚きましたが良い経験をさせていただきましたので。(最初の会議の開催時期によっては無理かもしれませんが)	第1回協議会等のスケジュールの都合上、36期の新委員に依頼するのは難しいと判断しました。